

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 新TNM分類(第8版)における肺腺癌切除例に対する術後UFT療法の再検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 上沼 康範 (国立がん研究センター東病院 呼吸器外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：研究実施期間：実施承認後～2023年3月末

目的・方法

新TNM分類(第8版)では元来の腫瘍全体径ではなく浸潤径により規定される分類へ変更となったが、UFT開始基準は従来の基準のままとなっています。本検討では当科で切除した肺腺癌症例を新TNM分類で再分類し、①術後UFT内服/非内服群の予後の比較 ②術後UFT内服の適応基準 について後方視的に検討を行います。

■ 対象となる患者さん

2002年1月～2017年12月までに当院で肺癌の手術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、治療歴、血液検査結果、画像検査結果、肺癌手術の病理結果報告書
抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

棚橋 雅幸・呼吸器センター外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971